令和8年度 動物取扱責任者研修
2026年11月25日

動物取扱業で注意したい動物由来感染症
― SFTS・トキソプラズマ症・消毒の基本 ―

富山県衛生研究所ウイルス部
主任研究員　佐賀　由美子

本日の内容

1.動物由来感染症について

2.重症熱性血小板減少症候群（SFTS）について

3. トキソプラズマ症について

4. 消毒の基本

本日の内容

1.動物由来感染症について

2.重症熱性血小板減少症候群（SFTS）について

3. トキソプラズマ症について

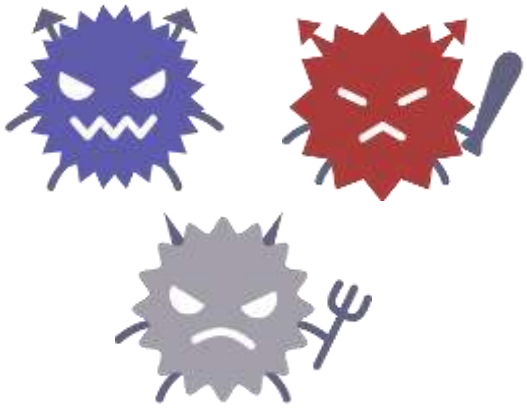
4. 消毒の基本

感染症とは？

動物の体内に、他の生命体（寄生体・病原体）が侵入して増殖すること（感染）によって、動物の細胞、組織が傷害されること。

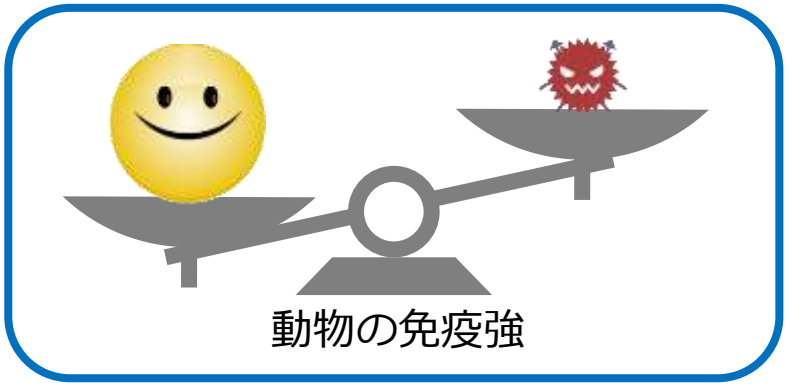


vs

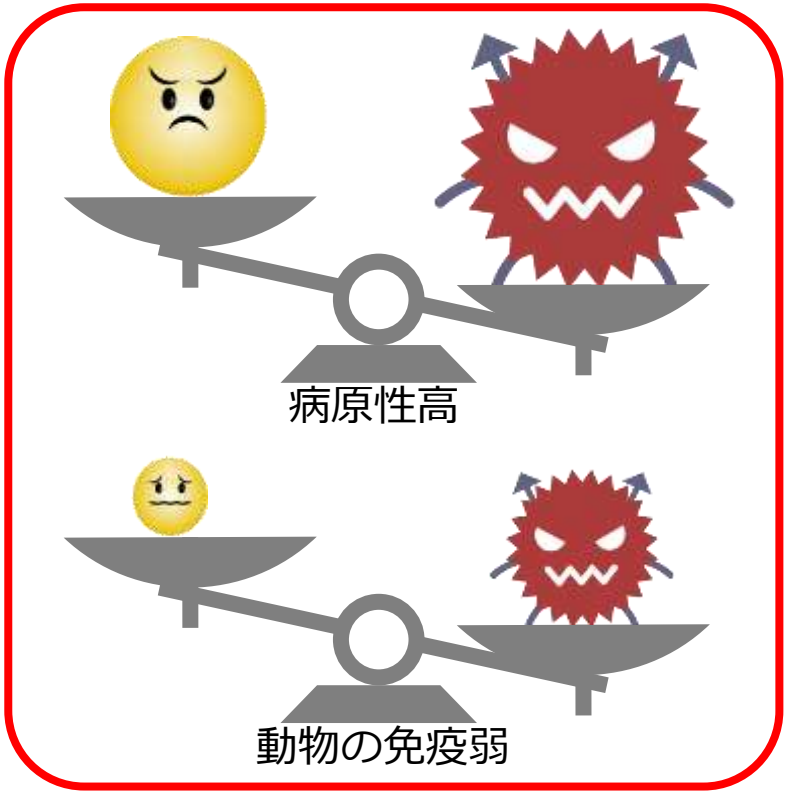


感染症に対する究極の対策は、病原体を体に入れないこと

動物の抵抗力（免疫）と病原体の力関係

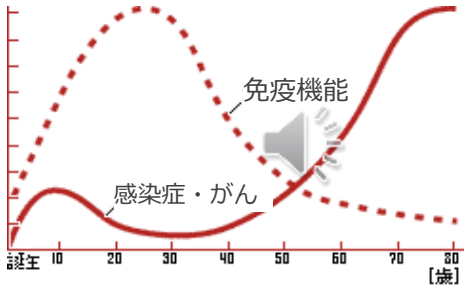


動物の抵抗力が病原体に比べて
相対的／絶対的に強ければ
⇒　**発症しない**



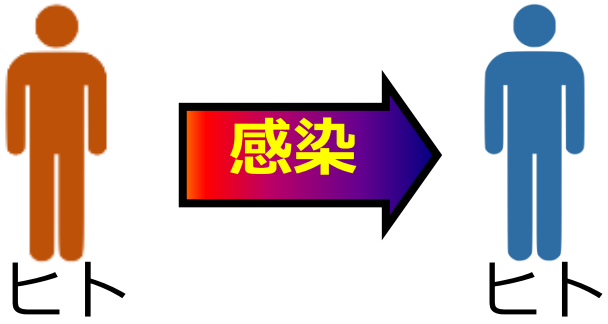
高病原性の病原体の場合
動物の抵抗力が弱っている／
動物の感受性が高い場合
⇒　**発症する**

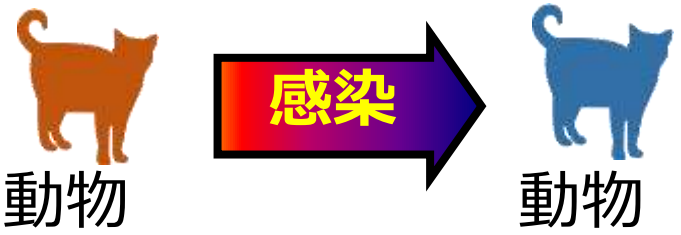
- ■ 先天性免疫不全
- ■ 後天性免疫不全
  - 年齢
  - ストレス
  - 悪性腫瘍（がん）
  - 感染症（FIV等）
  - 代謝性疾患
  - 医原性　　など

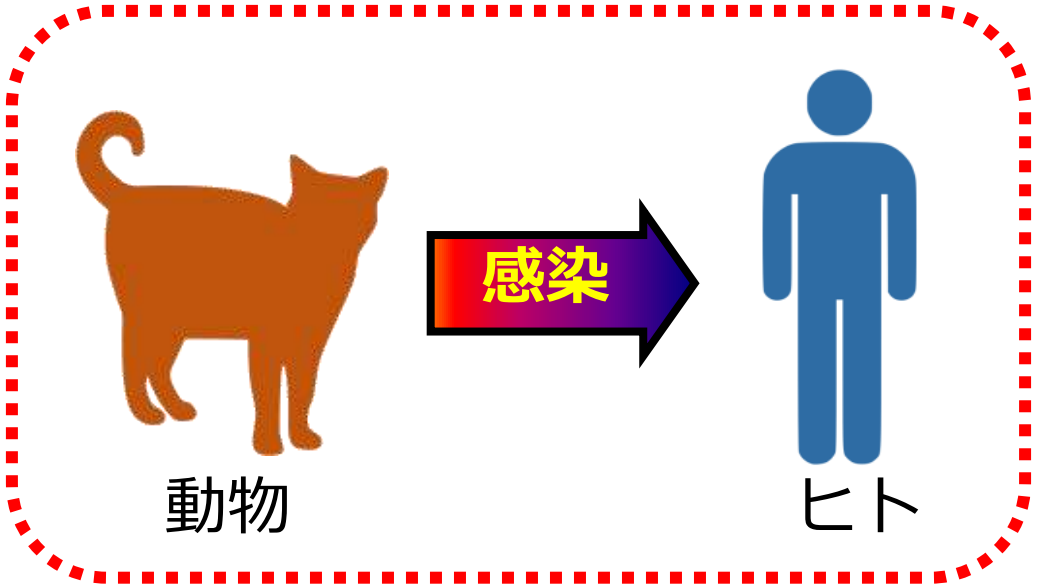


（参考：「からだと免疫のしくみ」日本実業出版）

感染症の特徴：伝染する







動物由来感染症（人獣共通感染症）



動物由来感染症の感染経路

伝播経路		具体例	動物由来感染症の例
直接伝播		咬まれる	狂犬病、カプノサイトファーガ感染症、パスツレラ症、鼠咬症
		ひっかかれる	猫ひっかき病
	触れる	糞便	トキソプラズマ症、回虫症、エキノコックス症、クリプトコックス症、サルモネラ症
		飛沫・塵埃	オウム病、コリネバクテリウム・ウルセランス感染症
		その他	皮膚糸状菌症、ブルセラ症、ペスト、鳥インフルエンザ、中東呼吸器症候群(MERS)
間接伝播	ベクター媒介	ダニ類	クリミア・コンゴ出血熱、ダニ媒介脳炎、日本紅斑熱、つつが虫病、重症熱性血小板減少症候群(SFTS)、ライム病、野兎病
		蚊	日本脳炎、ウエストナイル熱、デング熱、チクングニア熱、ジカウイルス感染症
		ノミ	ペスト
		ハエ	腸管出血性大腸菌感染症
	環境媒介	水	クリプトスポリジウム症、レプトスピラ症
		土壌	炭疽、破傷風
	動物性食品媒介	肉・肉製品	腸管出血性大腸菌感染症、E型肝炎、カンピロバクター症、変異型クロイツフェルト・ヤコブ病(vCJD)、住肉胞子虫症、トキソプラズマ症
		鶏卵	サルモネラ症
		乳・乳製品	牛型結核、Q熱、ブルセラ症
		魚介	アニサキス症、クドア症、ノロウイルス感染症

「動物由来感染症ハンドブック2026」より抜粋

動物取扱業における感染対策の基本

感染源と感染経路を知る

「動物の管理」
「人の防護」
「環境整備」
を組み合わせ、
感染経路を断つ

日常生活で感染を防ぐための対策

動物取扱業として、施設の衛生管理、従業員教育を実施するのに加え、
顧客（飼い主）に対して動物由来感染症の予防策などを説明しましょう。



過剰な触れ合いは
控えましょう



動物の身の回りは清潔に
しましょう



室内で鳥を飼育する時は
換気を心がけましょう



動物に触ったら、
必ず手を洗いましょう



糞尿は速やかに
処理しましょう



砂場や公園で遊んだら
必ず手を洗いましょう

「動物由来感染症ハンドブック2026」より抜粋

厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

ホーム > 政策について > 分野別の政策一覧 > 健康・医療 > 健康 > 感染症情報 > 動物由来感染症

健康・医療

動物由来感染症

- 感染症別情報
- 関係法令・通知・事務連絡等
- ガイドライン
- 動物由来感染症対策技術研修会
- 啓発ツール
- 海外渡航者向けポスター・リーフレット
- 関連情報

厚生労働省ホームページから
「動物由来感染症ハンドブック」が
ダウンロード出来ます。

ご活用ください。

啓発ツール

ハンドブック



個別の疾患の詳細も閲覧できます。

厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

感染症類型別

感染症法では感染力や発症した際の重篤度等を考
染症のうち、いくつかの疾病を取り上げ、最新の知

一類感染症	エボラ出血熱
二類感染症	SARS
三類感染症	細菌性赤痢
四類感染症	ウエストナイル熱
	狂犬病
	ツツガムシ病
	ブルセラ症

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）

主な症状　感染経路　検査・治療方法　予防と対策　発生状況　啓発ツール
Q＆A　医療機関・自治体のみなさま　感染症法に基づく医師の届出のお願い
報道発表資料　診療の手引き　関連リンク（さらに詳しい情報が必要な方）

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）とは

重症熱性血小板減少症候群（Severe Fever with Thrombocytopenia Syndrome ：SFTS）は、主にSFTSウイルスを保有するマダニを介して感染するダニ媒介感染症です。

フタトゲチマダニ　キチマダニ



（国立健康危機管理研究機構昆虫医科学部提供）

本日の内容

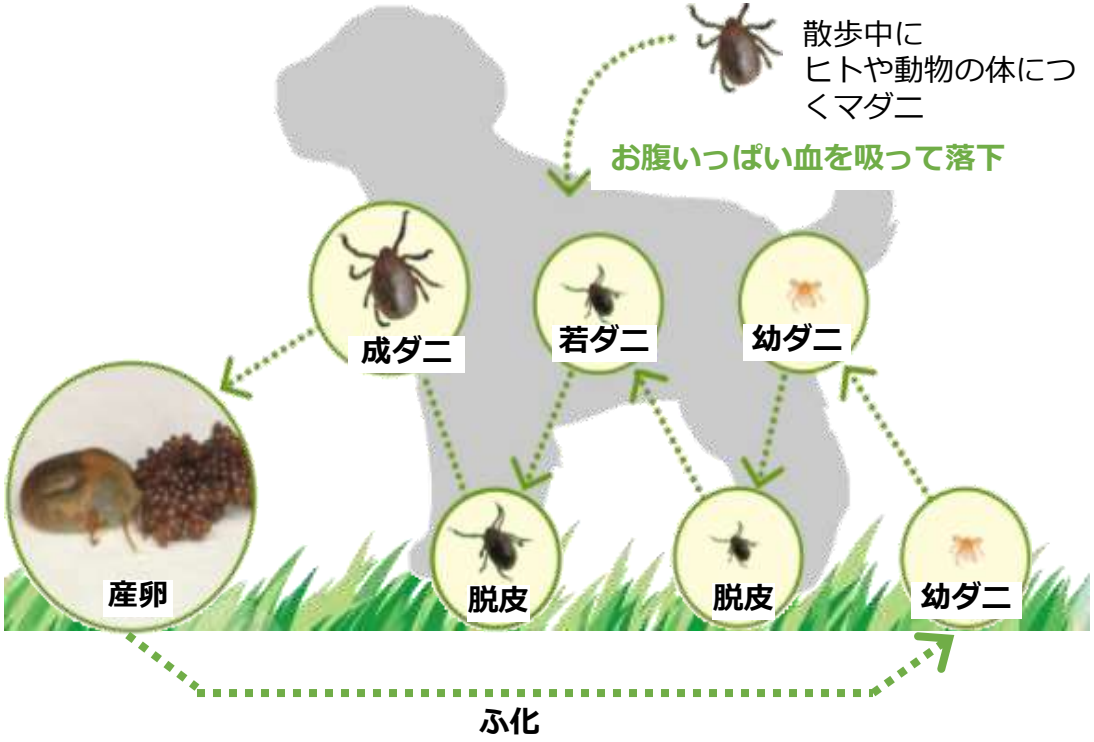
1.動物由来感染症について

2.重症熱性血小板減少症候群（SFTS）について

3. トキソプラズマ症について

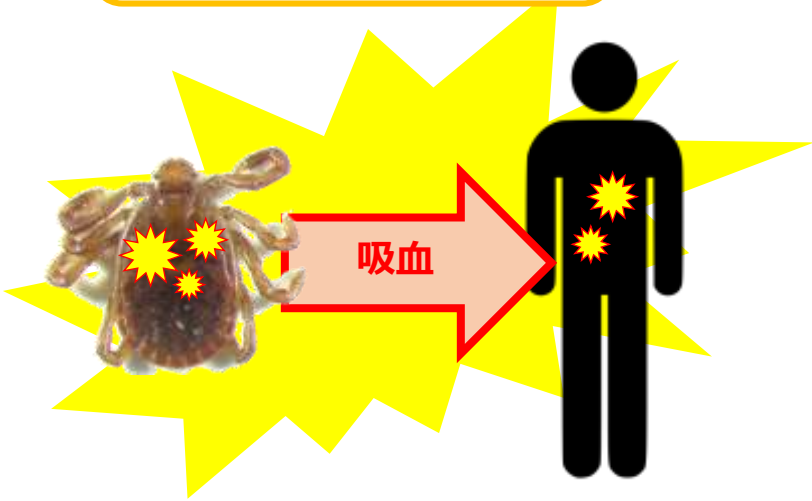
4. 消毒の基本

マダニの生活サイクルと病原体の伝播



マダニは、生涯で3回、ヒトや動物を吸血

マダニが病原体を
保有していた場合



病原体の伝播

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）

病原体

SFTSウイルス（SFTSV）

症状（ヒト）

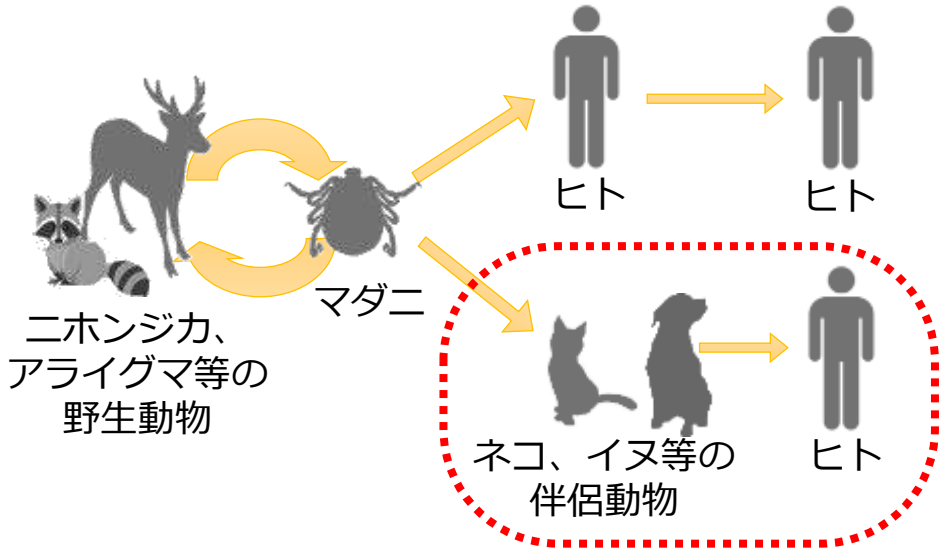
・初期症状：発熱、消化器症状 等

・重症例：神経症状、出血症状、
DICによる多臓器不全　等

・致命率：27%と非常に高い。
(Kobayashi et al., Emerg Infect Dis., 2020)

公衆衛生上重要な問題

SFTSVの感染ルート



動物からの2次感染防止も重要

ヒトSFTS症例の報告件数

（2026年8月19日現在）



イヌは無症状や軽症が多い。

- 中国で実施された囮調査でSFTSV感染が確認されたイヌは無症状だった。
  （Niu et al., 2013, China Emerg Infect Dis.）
- 山口県の飼育犬136頭中、5頭から抗SFTSV-IgG抗体が、2頭からSFTSV遺伝子が検出されたが、7頭とも症状はみられなかった。
- イヌのSFTS症例の致命率は29%

ネコは100%発症し、症状も重篤になる。

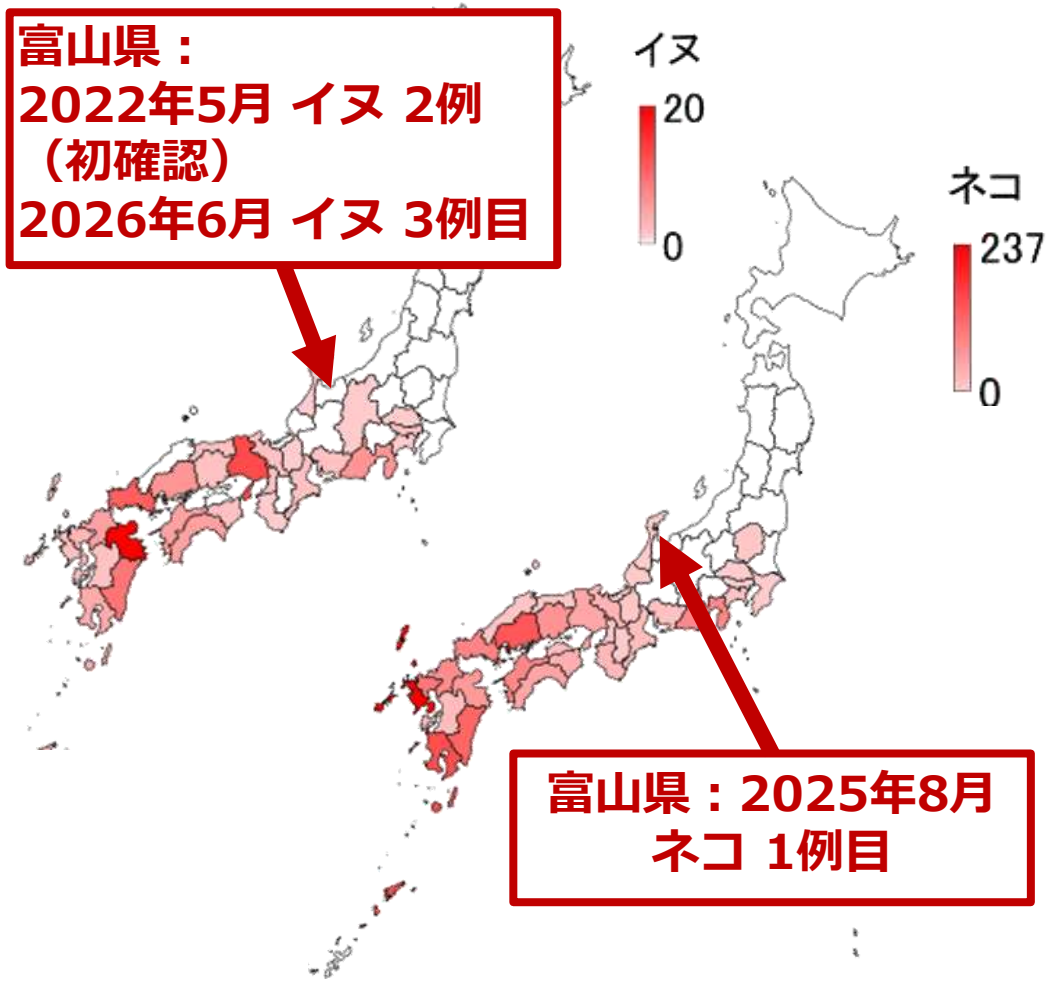
- 国内の流行地域の野良猫のSFTSV抗体陽性率はほぼ０％（感染研、山口大で約1,300頭検査）＝SFTSVに感染すると100%発症し、100%死んでいる？
- 山口県の飼育猫109頭中、3頭から抗SFTSV-IgG抗体が、5頭から抗SFTSV-IgM抗体が検出されたが、いずれもSFTS発症ネコであった。
- 動物病院に来院した飼育猫のSFTS症例の致命率は60～70%

（平成29年度・令和元年度動物由来感染症対策技術研修会　前田健先生・吉河先生　講義資料）

SFTS症例の確認地域

ネコおよびイヌ症例の確認地域

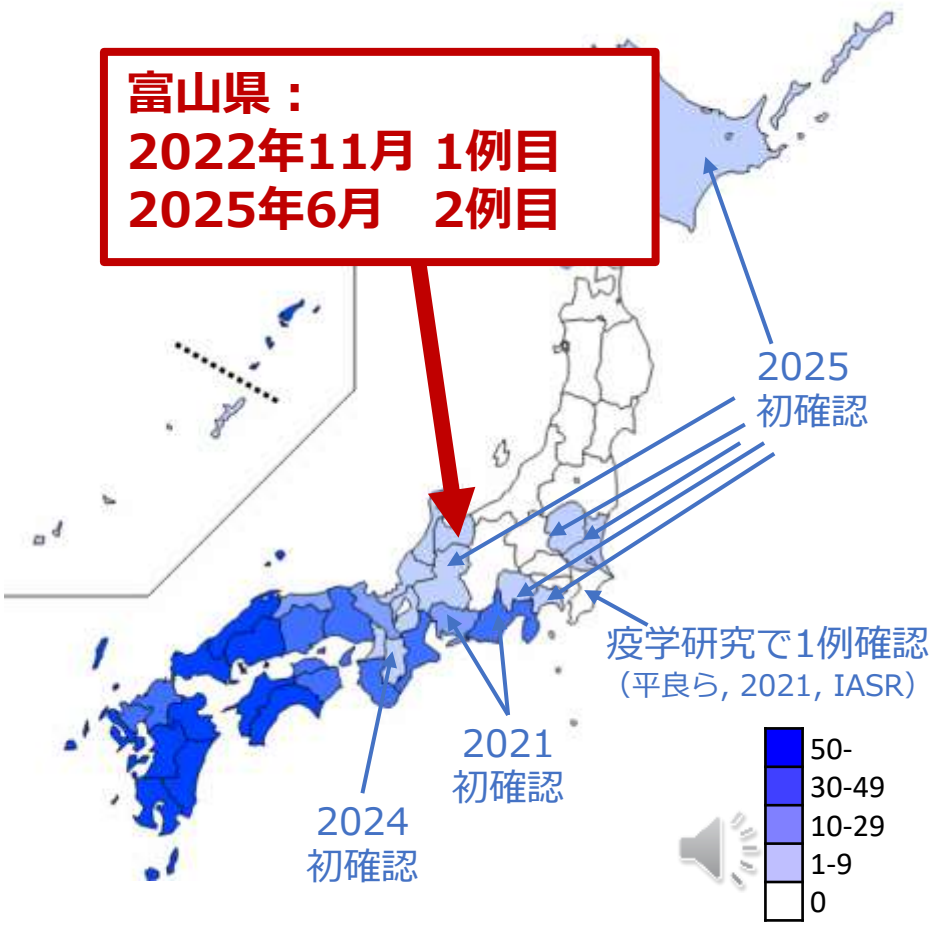
（ネコ n=1479、イヌ n=113、2026年9月30日現在）



（国立感染症研究所HPより）

ヒト届出症例の推定感染地域

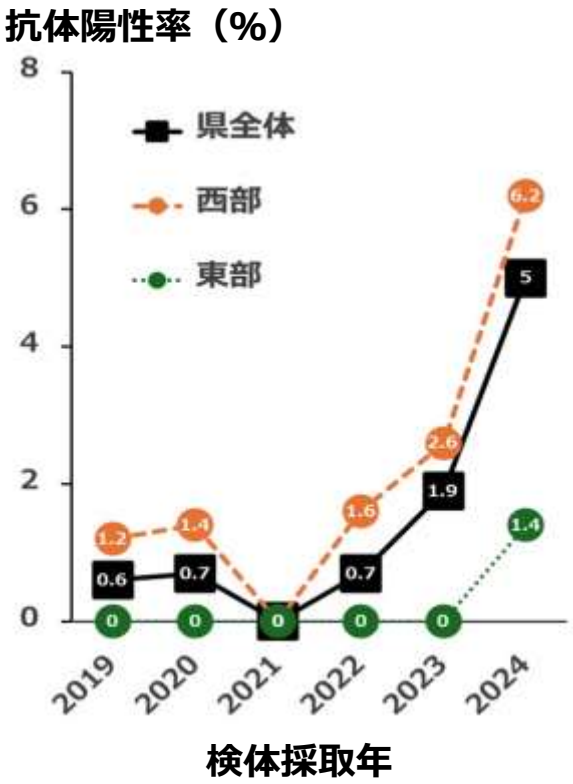
（n=1368、2026年7月31日現在）

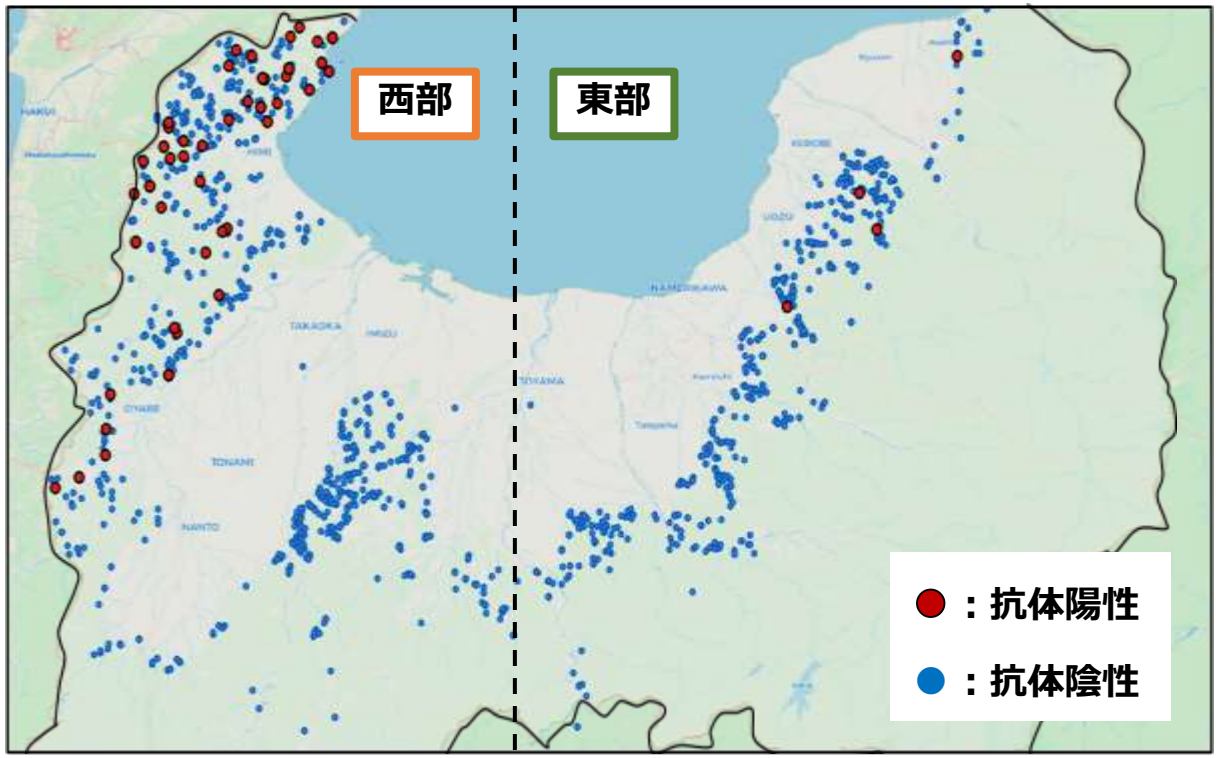


（国立感染症研究所HPより）

富山県のイノシシのSFTSV抗体調査結果

（検体採取：2019年7月～2024年10月、n=3,059）





（Yazawa *et al*., Viruses, 2025, 一部改変）

- **2023年から2024年にかけて抗体陽性率が上昇**
- **西部は、東部より有意に抗体陽性率が高い**
- **抗体陽性イノシシが多い地域は、SFTS症例の推定感染地と一致**

地図出典：Carto Light（©CARTO, ©OpenStreetMap contributors, CC BY 3.0）、国土数値情報行政区域データ（国土交通省国土政策局, https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-N03.html）

SFTSV感染予防対策

- 野外活動の際は、**マダニに刺されない**ように対策する。









- 感染していても症状を出さないこともある（特にイヌ）。
  普段から、**濃厚な接触は避け**、触った後は必ず**手洗い**する。





- マダニに刺されないように**完全に室内飼育**にする（特にネコ）。
- 屋外に出す場合は、**マダニ駆除薬を投与**する。

- **体調不良のイヌ・ネコの体液に接触しない**ように注意



イヌ・ネコのマダニ駆除薬

滴下薬、スプレー、内服薬　etc.

記載された駆除時間は24～48時間以内が多い



犬猫にマダニ駆除薬を使っても
SFTSV感染を完全には防げない？

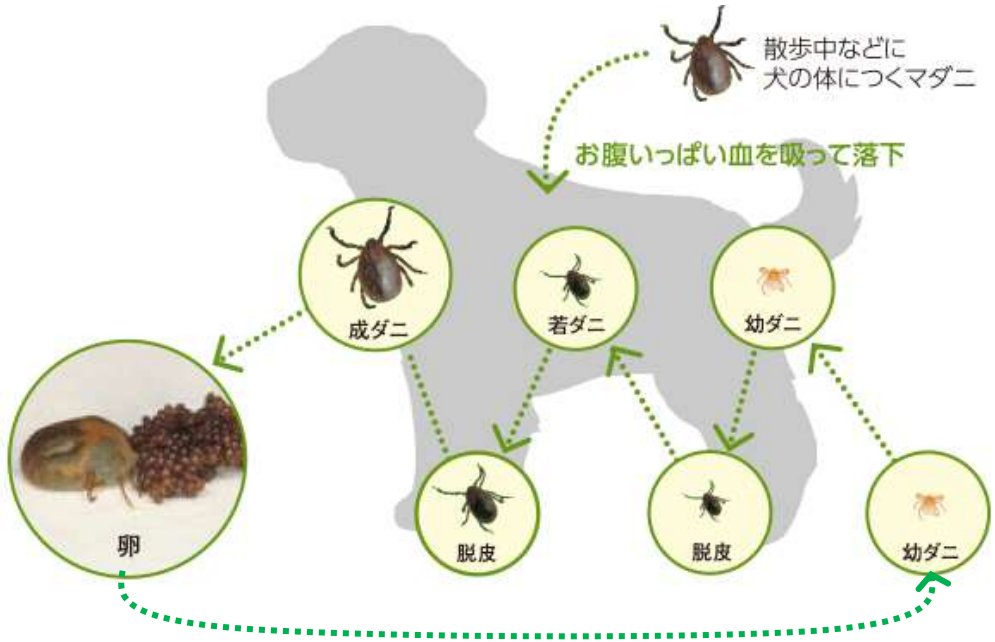
じゃあ、駆除薬は使わなくても良いかしら…

ちょっと待った！



マダニ駆除薬を投与していないと・・・

マダニが死ぬことなく、ライフサイクルの次のステージへ



自宅周辺にマダニが
多数生息してしまう。



その中に
SFTSV保有マダニが
いるかも・・・？



ヒトへのSFTSV感染を防ぐためにも
イヌ・ネコのマダニ駆除はしっかり行いましょう！

マダニに刺されないためには



マダニがひそんでいる草むらなどに入る際は、

- 長ズボンやレギンスをはいて、**肌が出ないように**する。ズボンのすそを靴下や長靴の中に入れる。
- 服は、マダニが付いているのを確認しやすい明るい色が良い。
- マダニに有効な**虫よけスプレー**を服の上にかけておくと、登ってくるマダニの数を減らすことができる。



草むらなどに入った後は、

- 屋内に入る前にマダニが付着していないか確認し、直ぐに着替える。
- マダニに刺されても**痛みや痒みを感じない**ので、**入浴の際に刺されていないか確認**する。





マダニに刺されたり、体調不良の動物と接触したとしても過剰に不安になる必要はありません

- マダニの病原体保有率は低い。
- イヌ・ネコの体調不良の原因もSFTS以外であることが多い。

2週間程度は、自身の体調変化に留意

もし、**体調が悪くなった場合には直ぐに医療機関を受診**し、

マダニ刺咬歴または体調不良の動物との接触歴を申告する。

SFTS：動物取扱業者が気を付けるポイント

特に注意する動物

- 保護由来の犬猫、屋外行動する犬猫
- 体調不良（発熱、元気消失、下痢、黄疸、出血傾向など）がある動物

基本対策

- マダニ予防、マダニ付着の確認を行う
- 体調不良の動物の体液や排泄物と直接接触しないようにする
  （手袋、マスク、必要に応じてアイガードを着用）

異常時の対応

- 体調不良がある動物は獣医師に相談
- 咬傷・掻傷時は洗浄し、医療機関へ相談



本日の内容

1.動物由来感染症について

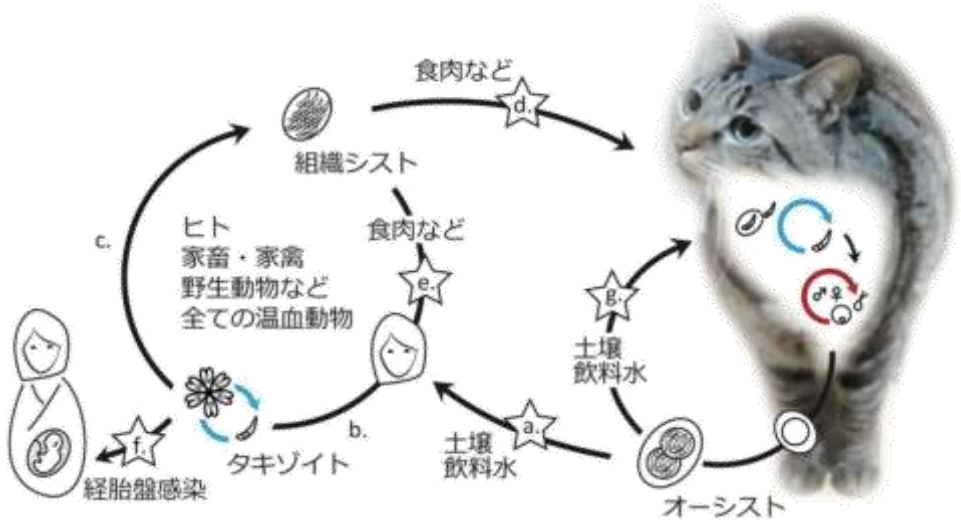
2.重症熱性血小板減少症候群（SFTS）について

3. トキソプラズマ症について

4. 消毒の基本

トキソプラズマ症

トキソプラズマ（原虫）の感染サイクル



（国立感染症研究所HPより）

- **ネコが終宿主**（体内で有性生殖し、**多量のオーシストを糞便中に排出**）
- 全ての哺乳類・鳥類が中間宿主（虫体は体内にとどまる）

症状（ヒト）

- 健常者の８割は無症状で、2割が発症するが軽症（発熱、筋肉痛など）
- **免疫不全者では、脳炎や肺炎などの重篤な症状**を呈することがある
- **妊婦が初回感染**すると、胎盤を通じて胎児に感染し、**先天性疾患（水頭症など）**を起こすことがある。

トキソプラズマの感染対策

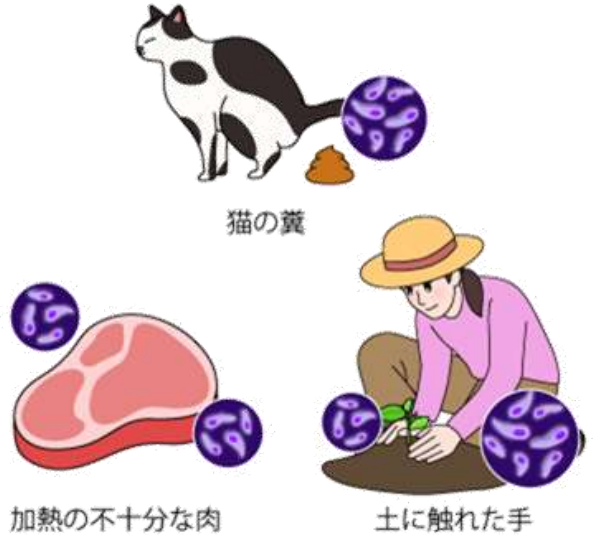
ネコ糞便中のオーシストが成熟して感染性を持つのに数日かかる

- **ネコの糞便は早め（24時間以内）に処理**
- ネコ糞便の処理や土に触れる作業の際は手袋を着用し、作業後は**手洗い**する
- **妊娠中**や免疫機能が低下している者は、**ネコの糞便処理や土の処理をしない**（他の者に任せる）ことを推奨
- 生肉や加熱不十分な肉は食べない
- 生肉や土のついた野菜を扱った調理器具、手指は十分に洗浄する

ネコも初回感染時のみオーシストを排出する

- ネコは室内飼育にし、生肉を与えない
- 妊娠中に新しいネコを飼わない

トキソプラズマ原虫が潜んでいる可能性が高いもの



（社会福祉法人　恩賜財団　済生会のHPより）

不安があれば、医師や獣医師にご相談ください。

本日の内容

1.動物由来感染症について

2.重症熱性血小板減少症候群（SFTS）について

3. トキソプラズマ症について

4. 消毒の基本



消毒の基本手順

1. 動物を移動
2. 糞便・尿・吐物・血液などの**有機物を除去**
3. **洗剤と水で洗浄**
4. 消毒薬を適切な濃度で使用
5. 消毒薬が接触する時間を確保
6. 必要に応じて水拭き・乾燥
7. 手袋を外して手洗い

消毒薬の効果が低下する原因



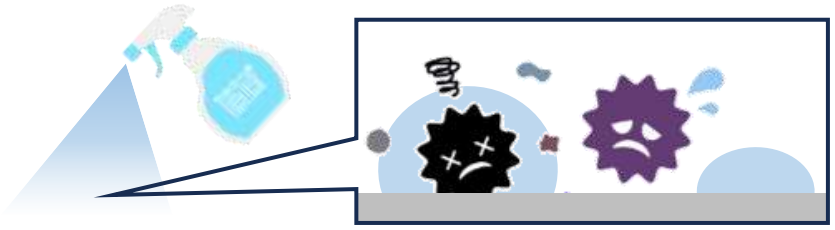
【最重要ポイント】

消毒の前に、清掃・洗浄を行いましょう

消毒薬の使い分け、使用上の注意点

エタノール

- 手指、小物、作業台向き
- 即効性がある
- 汚れがあると効果が下がる
- 引火性があるので注意
- **一部の病原体（ノロウイルスなど）には効かない**



スプレーだけでは消毒薬がかからない箇所があるので、クロスに含ませて拭きあげましょう

次亜塩素酸ナトリウム

- 床、ケージ、体液汚染時に使用
- 有機物、光、温度等により分解されやすい
- **適切な濃度・時間**で消毒する
- 酸性物質との混合で塩素ガス発生
- 金属腐食性、漂白作用があるので、使用後は水拭きが必要

本日のまとめ：持ち帰りメッセージ

SFTS対策は、マダニ対策と体調不良動物の体液暴露防止

トキソプラズマ症対策は、ネコ糞便の早期処理と手洗い

消毒は、清掃・洗浄してから、適切な薬剤を正しく使う

顧客説明は、不安をあおらず、
家庭でできる予防策を具体的に伝える



ご清聴、ありがとうございました。







富山県衛生研究所の調査研究にご協力いただきました方々に深謝いたします。